

機械器具設置工事業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	15~16	5号機ポリシング機改造工事現場で、移動中、被災者は仮に敷設された電線（又は保護用プリカチューブ）に躓き転倒し、顔面を強打した。	29	—
2	16~17	フェンス設置工事中に基礎石を設置する為50cm程掘削していた穴に足を滑らせ、転倒までしなかったが左足を穴の中で捻りくるぶしの上の骨を折った。	60	1~9
4	15~16	空調機入替工事にて、会社で作業終了後の片付け作業中、誤って会社入口の段差（コンクリート高さ10cm程度）を踏み外し、左足背部及び左足靭帯を負傷した。	26	1~9
6	15~16	旧コード工場に、裁断機の制御盤を搬入する作業を開始した。4名の作業者が制御盤を平台車に載せて搬入を開始した。制御盤を左方向へ方向転換しようとした際に、平台車が土間に引っ掛かり、制御盤が転倒し始めた。被災者は挟まれないように逃げたが、制御盤の架台のアンクルが右足の親指付近に乗り、挟まれて被災した。	30	50~99
7	9~10	調整池掘削及び生コンクリート打設作業中、地盤が粘性土でもあって足元が悪かった。そのため、コンクリート打設用の仮設鉄板に足を滑らせ、左膝付近を怪我した。	25	10~29
9	20~21	被災者は、同日工場にて内作作業に従事していた。事務所に立ち寄った際、出入口にある段差を踏み外し転倒した際に、コンクリートに右肘を強打し骨折した。肘が曲げられない程の痛みがあり、残業中であったが近くの病院へ行った。	24	30~49
		工場内に於いて、機械据付（バレル）作業中に別棟で作業をしている作業員より作		

10	14~ 15	業内容の件で電話があり、場内がうるさく聞きづらかったため場外へ出て話すため出口に向かった。その際、新工場のため床に張ってあったシートが風でめくれ足に絡みもつれ、倒れたときに右手に携帯を持っていたため痛めていた左手を床についで左手首を負傷したもの。	10 59 ~ 29
----	-----------	---	---------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html